

# はあ〜てい

vol.236

2017年8月号

益田市の  
社協  
だより



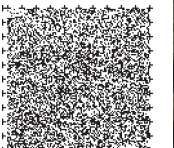
この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

## 『第15回 益田市障がい者スポーツ大会』 が開催されました



6月18日(日)、益田市陸上競技場で『益田市障がい者スポーツ大会』が開催され、約120名の参加者が集まりました。大会は、スポーツを通じて障がい者のみなさんの体力の維持増進を図るとともに、支援するみなさんの障がい者に対する理解と認識をより一層深め、社会参加の促進と福祉向上に寄与することを目的に毎年開催されています。地区別対抗リレーや玉入れには、市内の高校生ボランティア(ファイブハーツ)の皆さんも一緒に参加し、笑い声が絶えない楽しい1日となりました。

また、ハンドバイクライダーの末吉正巳さんがパラサイクリングの普及啓発のため、『パラサイクリング体験コーナー』を設置し、たくさんの方が試乗されていました。



## 新会長挨拶

この度ご勇退された齋藤眸前会長、吉川富男副会長の後任として、私が会長に、田中敦理事が副会長を務めることになりました。齋藤前会長が築かれた、福祉の基盤をより盤石なものとし、市民みんなが『安心、安全に暮らせるふくしのまちづくり』に努めてまいります。

人口減少社会の進展ならびに社会構造の変化によって、人と人との絆が希薄化し、地域社会では、引きこもり、孤独死などの孤立化や、生活困窮等の格差や子どもへの虐待など、生活福祉の課題が深刻化しています。

『ふ・く・し』とは、『**ふ**つうに』『**く**らせる』『**し**あわせ』のこと。

子どもも高齢者も障がいのある人、生活困窮の方も分け隔てなく、また出身地や民族、肌の色、宗教に関係なく、みんな平等で互いに支え合いながら『心優しい地域社会』を目指さなくてはなりません。

社会福祉協議会は、地域社会において、民間の自主的な福祉活動の中核となり、福祉コミュニティづくりと、地域福祉の推進を使命としています。平成30年度から5か年計画となる『第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画』の策定、支え合いマップづくりによる『ご近所福祉』や『ボランティア・福祉教育』『地域包括ケアシステムの構築』『災害ボランティアセンター運営訓練』などを推進してまいります。

福祉の主役は市民のみなさんです。各地区組織やボランティア、NPO、社会福祉事業者、そして、保育・教育、保健医療文化芸術の各組織、団体等と連携を図りながら『だれにもやさしい福祉のまち・益田』を共に創りましょう。



会長  
末成 弘明

## 益田市社会福祉協議会 役員改選のお知らせ

任期満了に伴い、6月26日付けで益田市社会福祉協議会の役員並びに、6月20日付けで評議員を改選いたしました。役員の任期は、平成30年度会計に関する定時評議員会の終結時（平成31年6月）まで、評議員は平成32年度会計に関する定時評議員会の終結時（平成33年6月）までです。

社協事業の推進に、市民のみなさまをはじめ、行政、福祉関係機関・団体のみなさまの変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。

### 【益田市社会福祉協議会役員・評議員】

(敬称略)

会長 末成 弘明 (土井町)	// 吉川 富男 (水分町)	// 桐木 保男 (虫追町)
副会長 田中 敦 (あけぼの本町)	// 林 光明 (高津一丁目)	// 高橋 正教 (美都町丸茂)
常務理事 福原 正巳 (下本郷町)	顧問 齋藤 眸 (高津五丁目)	// 山崎 一美 (匹見町広瀬)
理事 大久保 稔 (下本郷町)	評議員 俵 護 (七尾町)	// 大賀 温 (種村町)
// 佐々木文彦 (遠田町)	// 光永 榮子 (水分町)	// 美濃地淳二 (須子町)
// 佐々木洋司 (高津六丁目)	// 太田 和敏 (高津一丁目)	// 小田 公弘 (江津市二宮町)
// 岩本 悟 (白上町)	// 渋谷 建吾 (津田町)	// 増野 信政 (須子町)
// 豊田 忠作 (白上町)	// 田中 勉 (西平原町)	// 田中 文仁 (下本郷町)
// 吉村 浩司 (中島町)	// 田原 清 (種村町)	// 田原 邦子 (西平原町)
// 永本 鶴枝 (須子町)	// 伏谷 正明 (赤雁町)	// 大内 宗泰 (津和野町中曾野)
// 山本 尚 (中吉田町)	// 日比 勇 (久々茂町)	// 西川 壽子 (白上町)
// 高橋 和則 (美都町都茂)	// 寺戸 邦夫 (波田町)	// 福田 陽子 (白上町)
// 寺戸 秀美 (匹見町澄川)	// 福原 裕 (横田町)	// 山鳥 和子 (美都町山本)
// 島田 博 (多田町)	// 豊田 繁雄 (黒周町)	// 小原美智子 (美都町宇津川)
// 岩本キミ子 (久城町)	// 中尾 敏雄 (美濃地町)	// 渡邊友千代 (匹見町匹見)
監事 竹内 優機 (久城町)	// 大賀 章二 (喜阿弥町)	

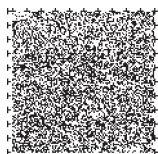
## 退任の挨拶

日増しに暑さが加わってまいりましたが、皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

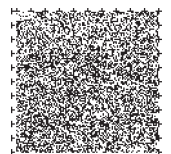
このたび6月26日をもちまして益田市社会福祉協議会会長を退任いたしました。

顧みますと、平成24年以来5年にわたって在籍させていただき、第2期地域福祉活動計画の策定、生活困窮者自立支援事業の実施、支え合いマップ作りの拡大等につとめてまいりました。在任中は皆様方の格別なるご支援とご協力を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。

今後とも新会長に変わらぬご厚情賜りますようお願い申し上げ、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、退任のご挨拶といたします。



前会長 齋藤 眸





# 社会福祉法人制度改革について

平成29年 4月 1 日から全面施行された改正社会福祉法による社会福祉法人制度改革に対応し、益田市社会福祉協議会では、さらに組織のガバナンス（統治）強化と透明性の向上を図るとともに、他の法人・福祉施設との協働により、公益的な取り組みを推進してまいります。

## ●社会福祉法人制度改革について

### 1. 経営組織のあり方の見直し

- ・ 理事、理事長（会長）に対するけん制機能の発揮
- ・ 財務会計に係るチェック体制の整備

### 2. 事業運営の透明性の向上

- ・ 財務諸表の公表等について法律上明記

### 3. 適正かつ公正な支出管理（財務規律の強化）

- ・ 適正かつ公正な支出管理の確保
- ・ いわゆる内部保留の明確化
- ・ 社会福祉事業等への計画的な再投資

### 4. 地域における公益的な取り組みを実施する責務

- ・ 社会福祉法人の本旨に従い他の主体では困難な福祉ニーズへの対応

### 5. 行政の関与の在り方

- ・ 所轄庁による指導監督の機能強化
- ・ 国、都道府県、市との連携を推進

## ●組織経営のあり方について

### ①理事、監事、評議員の定数

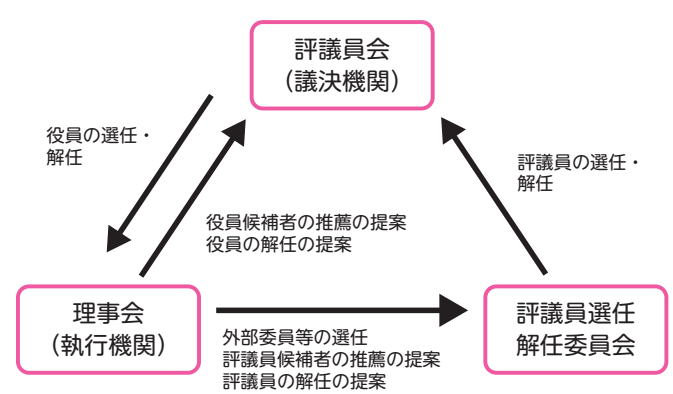
	理事	監事	評議員
改正前	17名	3名	43名 ※理事の2倍を超える数
改正後	13名以上 15名以内	3名以内	23名以上28名以内

### ②理事・監事・評議員の任期

	今までの任期	改正後
理事	2年	2年※
監事	2年	2年※
評議員	2年	4年※

※選任後任期以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結時まで

### ③評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会の関係

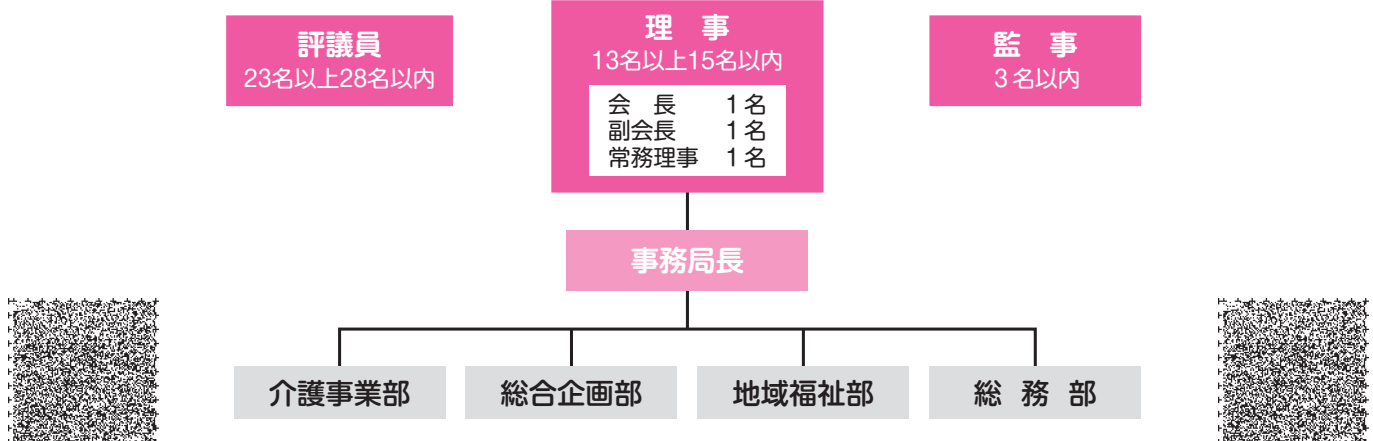


# 益田市社会福祉協議会 組織改編について

新たな社会福祉法人制度に適正に対応するとともに、社協本来の使命と責務を果たすため、経営組織の更なる機能強化を目的とし、平成29年 7月 1 日付けで以下の組織改編を行いました。

## 益田市社会福祉協議会組織図

(平成29年 7月 1 日現在)



# 社協事業へのご協力に感謝



少子高齢化をはじめ、引きこもりや社会的孤立、経済的な困窮等、様々な福祉課題が顕著になってきています。地域における多様なニーズに対応し、『誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』をすすめていくために、市民の皆さまからのご支援・ご協力をいただきながら、以下の各種事業を推進いたしました。ご協力ありがとうございました。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 平成28年度 社会福祉協議会事業報告

### 社協基盤の強化推進

- 理事会(6回)・評議員会(4回)・監査会(2回)開催
- 広報活動 社協だより『はあ〜てい』発行(年6回)  
ホームページによる広報
- 会員の増強と社協財源の確保
- 地区社協支援:財政支援総額 12,747,395円

### 福祉施設サービスの経営管理強化

#### 【特別養護老人ホーム】

- 美寿苑(定員30人) 定床利用率 98.5%
- もみじの里(定員30人) 定床利用率 96.8%

#### 【短期入所生活介護事業】

- 美寿苑(定員6名) 月平均利用者数 21人
- もみじの里(定員8人) 月平均利用者数 22人

#### 【高齢者生活福祉センター】

- ふれあいの園(定員12名) 月平均利用者数 10人

#### 【養護老人ホーム】

- 春日荘(定員50名)
  - 訪問介護 月平均利用者数 30人
  - 通所介護 月平均利用者数 5人
  - 福祉用具貸与 月平均利用者数 18人



### 生活支援事業の推進

- 民生融金 55件 / 1,954,000円
- 生活福祉資金 4件 / 2,440,174円
- 日常生活自立支援事業  
問合せ・相談件数 1,413件 / 実利用件数 72件
- 法人後見事業 4件受理
- 生活困窮者自立支援事業  
相談件数 37件 プラン作成件数 20件
- フードバンク事業(11月～)  
676品目受領 / 食糧支援22件
- 市民後見推進事業 養成事業、活動マニュアル作成
- 入居債務保証支援事業 利用件数 3件

### 在宅福祉サービスの運営強化

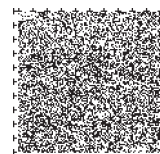
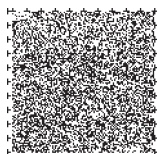
#### 【地域包括支援センター】

- 美都地域包括支援センター  
介護予防ケアプラン 531人 / 延べ相談件数 171件
- 匹見地域包括支援センター  
介護予防ケアプラン 560人 / 延べ相談件数 196件

#### 【介護保険事業】

- 訪問介護事業  
延べ訪問回数  
本所 7,811回 / 美都 2,725回 / 匹見 1,577回
- 訪問入浴介護事業 延べ訪問利用者数 1,331人
- 通所介護事業  
延べ利用者数 美都 5,821人 / 匹見 2,597人
- 居宅介護支援事業  
延べ利用者数  
本所 1,214人 / 美都 380人 / 匹見 418人
- 【移送サービス】 延べ利用者数 5人
- 【配食サービス】

延べ利用者数 美都 1,174人 / 匹見支所 815人



## 福祉教育の推進と支援

- 福祉教育協力校 31校指定
- サマーボランティアスクール開催 68人参加
- 福祉出前講座 利用件数34件／延べ受講者681人
- 出前手話講座 9校 412人

## ボランティアセンターの充実化

- 『ますだボランティア情報』の発行(年2回)
- ボランティアセンター研修会の開催(約150名参加)
- ボランティア登録  
個人登録233人、団体登録1,460人
- あいサポート研修 12回／延べ受講者 357人

## 福祉のまちづくりの推進

## 【ふれあいのまちづくり事業の推進】

- 先駆的、モデル的事業への助成  
9団体／1,412,666円
- 法律相談の毎月開催
- 小地域福祉ネットワーク活動  
各地区社協への活動助成  
友愛メール事業(美都地域) 延べ 944人  
ふれあいネットワークまちづくり研修会開催  
支え合いマップづくり 3自治会 1地区

## 【高齢者・心身障がい者(児)福祉事業の推進】

- 匹見お買い物宅配サービス(匹見らくらく便)  
登録 16世帯／延べ 68回利用
- シルバーハウジング生活援助員派遣事業 44世帯
- ふれあい・いきいきサロン事業  
新規 2カ所 継続 76カ所 計 78カ所  
交流事業 9交流会／287,000円助成

- マイクロバス運行事業  
利用団体延べ 155団体  
延べ利用者数 3,300人
- 総合福祉センター事業(年間利用実績)  
センター会議等 28,076人 入浴 1,632人  
老人・母子講座、研修会 69回／785人  
老人・母子相談 23回／155件

## 【児童福祉対策事業の推進と母子等の組織支援】

- 児童館(益田、吉田、高津、飯田)の管理運営  
匹見保育所の管理運営
- 子育てサロン  
新規 1カ所／継続 10カ所 計 11カ所

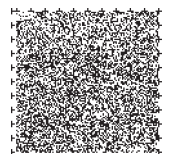
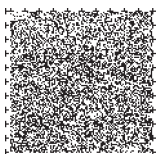
## 【社会福祉大会の開催】

150名参加

## 平成28年度 一般会計決算

収入項目	(円)
会費収入	14,791,000
寄付金収入	8,704,561
経常経費補助金収入	101,332,575
受託金収入	312,711,742
貸付事業収入	1,817,500
事業収入	6,014,210
負担金収入	157,460
介護保険事業収入	550,949,677
保育事業収入	912,079
障害福祉サービス等事業収入	5,437,750
受取利息配当金収入	26,378
その他収入	2,368,931
積立資産取崩収入	70,000,000
その他の活動による収入	25,235,495
前期末支払資金残高	170,923,936
<b>収入合計</b>	<b>1,271,383,294</b>

支出項目	(円)
人件費支出	679,706,048
事業費支出	199,476,046
事務費支出	91,464,955
利用者負担軽減額	179,211
貸付事業支出	1,954,000
共同募金配分金事業費	12,233,305
助成金支出	15,661,375
負担金支出	736,390
その他支出	1,672,490
固定資産取得支出	1,023,079
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,328,912
基本積立資産支出	820,017
積立資産支出	70,000,000
その他活動による支出	25,218,080
当期末支払資金残高	168,909,386
<b>支出合計</b>	<b>1,271,383,294</b>





# 平成29年度 社協会費ご協力のお願いについて

益田市社会福祉協議会は、皆さまのご支援ご協力により、昨年度も福祉事業を滞りなく展開できましたことを、心から感謝申し上げます。平成29年度も住民主体を基本に『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を積極的に推進してまいります。



今年度も地域福祉事業を推進するため、社協会費につきまして、皆さまのからのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

**【社協会費の種類】** いずれも1口当たりの金額です。

- 一般会費： 800円（地区社協・自治会を通して各世帯にお願いしております）
- 賛助会費： 1,000円以上（社協役員、評議委員、福祉関係機関・団体及びその役員、その他個人）
- 特別会費： 5,000円（篤志家、会社、団体等）

**【会費の用途】**



講演会・研修会



サマーボランティアスクール



出前手話講座

他にも、『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を進めるための各種事業の貴重な財源として活用されています。

**【申込み方法】**

一般会員会費につきましては、各自治会を通じ、お願いしております。

賛助会員、特別会員のご加入につきましては、直接社会福祉協議会窓口、または下記連絡先にお問い合わせください。

**【お問合せ先】** 益田市社会福祉協議会 TEL：22-7256 FAX：23-4177まで

## 善意の輪 敬称略

(平成29年4月1日～6月30日)

ご寄附ありがとうございました。地域福祉活動事業費や福祉基金積立の原資として、活用させていただきます。

【香典返し】		
(敬) 菊井 國雄 (須子町)	金一封	
戸田 幸信 (遠田町)	金一封	
(敬) 寺田 久代 (久城町)	金一封	
城市 一美 (白上町)	金一封	
島田 大造 (東町)	金一封	
宮本 清江 (戸田町)	金一封	
(敬) 亀地 リヨ (西平原町)	金一封	
(敬) 島内エミ子 (木部町)	金一封	
永見 建三 (久々茂町)	金一封	
(敬) 山根 剛 (七尾町)	金一封	
(敬) 山根 忠次 (七尾町)	金一封	
(敬) 大畑ハルヨ (高津五丁目)	金一封	
北浦 正信 (有明町)	金一封	
高常 大助 (戸田町)	金一封	
石橋 剛 (安富町)	金一封	

匿名	金一封	
齋川 實人 (下種町)	金一封	
(敬) 豊田 茂種 (山口県防府市)	金一封	
(敬) 岡 定徳 (広島市西区)	金一封	
田原 利夫 (下種町)	金一封	
岡崎 洋 (白上町)	金一封	
中村 榮子 (東町)	金一封	
吉川 洋子 (駅前町)	金一封	
(敬) 大賀 頼人 (喜阿弥町)	金一封	
(敬) 廣瀬 達雄 (高津六丁目)	金一封	
(敬) 大畑 勝男 (元町)	金一封	
田中 幸子 (波田町)	金一封	
高橋 和則 (美都町都茂)	金一封	
(敬) 佐々木 忠 (木部町)	金一封	
匿名	3万円	
(敬) 清水 徳一 (須子町)	金一封	

(敬) 野崎ヒデ子 (高津五丁目)	金一封
糸賀 忠孝 (久城町)	金一封
(敬) 村上 宗富 (馬谷町)	金一封
田中 宣之 (木部町)	金一封
(敬) 渡里キサノ (匹見町石谷)	金一封
(敬) 郷田 照子 (匹見町匹見)	10万円

### 【見舞返し】

下瀬 輝夫 戸田町	金一封
渡邊 政則 匹見町匹見	金一封

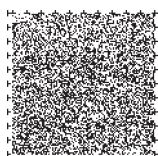
### 【一般寄付】

益田市消防女性分団	14,019円
(有)益田自動車輦金塗装	10万円
千波流美里会	3万円
カラオケ勝ちゃん 代表 火脚勝人	金一封

## ふれあい福祉相談のご案内 8月・9月の相談日 場所：益田市総合福祉センター

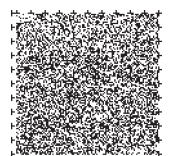
	無料法律相談 13:00～15:00 (要予約)	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
8月	-	-	25日(金)
9月	8日(金)	8日(金)	8日(金)・22日(金)

『どこに相談したらいいの?』という、家庭内外のトラブルや心配ごと等、ふれあい福祉相談をご利用ください! 広く日常生活上の相談をお受けしています。



問い合わせ  
予 約

益田市社会福祉協議会 ☎ 22-7256  
(月～金 8:30～17:30)



益田市社会福祉協議会 / 益田・鹿足成年後見センター 共催

## 講演会 市民後見人の必要性について

大分大学 福祉健康科学部 学部長

講師 衣笠 一茂 氏

場所 益田市総合福祉センター  
(益田市須子町3-1)8/26(土)  
13:30~15:30  
(開場 30分前)

※ 参加費無料・事前申込不要

※ 当日は手話通訳・要約筆記があります

ある日、認知症や何らかの障がいのために判断力が不十分になる可能性は誰にでもあります。成年後見制度は判断能力が不十分になった方を支援するための制度です。けれど、身近に頼れる親族などがいない人は誰に成年後見人になってもらったらよいのでしょうか。市民後見人は、その人の暮らしを地域で支えるため、これからの益田市に必ず必要になってきます。これから先もずっと、自分が自分らしく生きていくためにはどうしたらいいのか、大切な人のため自分は何かができるのか...そう考えている人にこそ来て欲しい講演会です。

## ご近所福祉のあれこれ! Vol.4

支え合いマップづくり  
体験版の薦め

体験版とは?



住民流福祉総合研究所 (代表:木原孝久氏) が考案した模擬マップを活用し、架空のご近所の支え合いマップを作ることにより、実際の支え合いマップを作る際のコツや、注意点などを学ぶことを目的に実施するものです。模擬マップをつくる過程から見えてきた要援護者一人ひとりについて、ご近所同士のふれあいや助け合いを最大限に活かし、住民の手で解決していくための知恵などもこの体験版で学ぶことができますのでお勧めです。

お気軽にお問い合わせください。

## 体験版の進め方 (全体で1時間半)

## 1. 支え合いマップの説明(約20分)

支え合いマップの必要性や、どういう物かということを知る。

## 2. 体験マップの作成(約30分)

進行者の真似をしながら、架空のご近所マップを作成する。

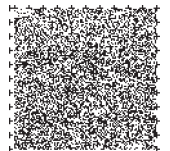
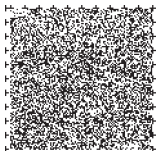
## 3. 課題抽出と解決方法の検討(約20分)

マップに記入された地域の状況(情報)を使って、課題や解決策を考える。

## 4. 課題と解決方法の発表(約20分)

参加者全員が多面的な解決方法を共有し、理解を深める。

お問合せ先  
益田市社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課  
TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177  
(担当: 中島・木村)





6月4日

## 『ほのかまつり』であふれる笑顔



第8回『ほのかまつり』を、老人ホーム春日荘とNPO法人きずな（ほのぼのハウスみと）主催で、開催しました。

ステージでは元気いっぱいの子も神楽や踊りなどが披露され、地域や市内外の福祉事業所から多数の出店もあり、盛大なお祭りとなりました。

地元自治会やボランティア団体などの協力を得て、春日荘をご利用いただいている方やご家族をはじめ、たくさんの方にご来場いただき、職員一同、地域あつての施設であることを改めて感じることができました。ご来場いただいた方々に感謝申し上げます。

6月14日

## 赤い羽根共同募金助成伝達式を開催しました

益田市総合福祉センターにて、「平成28年度（29年度事業）赤い羽根共同募金助成伝達式」を開催しました。当日は、助成団体代表者および益田市共同募金委員会関係者約40名が集いました。

初めに、齋藤眸前会長より、団体代表者へ「助成決定通知書」が伝達されました。これを受けて、助成決定団体を代表して、NPO法人きずなの大谷理事長より「感謝の言葉」がありました。

平成28年度（29年度事業）助成決定団体は17団体、配分総額は10,741,348円です。皆様の善意は、市内の地域福祉の推進に役立てます。ご協力ありがとうございました。



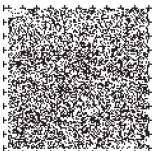
7月1日

## 子どもの元気な笑顔が地域の宝!!



高津公民館にて、『たかつ子ども食堂』がOPENし、約100名の子も達が集まりました。昼食にはカレーと×ロフとスイカが振る舞われ、食後は、遊び回る子ども達の笑い声で館内はとても賑やかでした。

『たかつ子ども食堂』は、高津地区民生児童委員協議会が立ち上げられ、今後は年6回程度の開催を計画しており、次回は9月2日（土）の開催予定です。地域のみんなで子ども達と関わりを持ちながら、見守り、育てていきたいということでした。元気な笑顔が地域にあふれていくことを願っています。



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 〒698-0036 益田市須子町3-1  
 編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177  
 社協e-mail:masuda\_h@masuda-shakyou.or.jp  
 「はあーてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

